点数　各項目20点満点

No	タイトル	投稿者	評価者	怖さ	鋭さ	新しさ	ユーモアさ	意外さ	合計	書評
301	影鳥居	クダマツヒロシ	一般審査員Ａ	8	10	10	14	14	56	優さんの父親は呼ばれてしまったのか？それとも、こういうことが起こるという前兆だったのか。ちょっとよく分からない話でした。奉納は、神仏に喜んで納めてもらうために物品を供えたりする意味があるので、父親の魂を捧げたって意味もあるのかなと想像してしまいました。そこまで怖くない話ですが、ユーモアと意外さの点数を高めにしています。
301	影鳥居	クダマツヒロシ	一般審査員B	13	12	13	10	15	63	鳥居という事は神社が関係しているとおもうのですが、奉納というのは生贄と解釈しましたがなぜお父さんが選ばれたのか、近くに神社は無いとか謎が盛り沢山な話ですね。
301	影鳥居	クダマツヒロシ	一般審査員C	15	16	16	12	15	74	その鳥居のようなものを見てしまったから亡くなったのか？お迎えが近いから現れたのか？まるで地獄の門のような出たら最後不気味で有無を言わせない圧力さえ感じました　短編ならではの急展開に鋭さ、結末に意外さを感じたので高めとしました　自分なりの解釈等があったら新しさポイントをもう少し高めとしようと思いました
301	影鳥居	クダマツヒロシ	一般審査員D	8	11	13	9	11	52	お父様が奉納されてしまった、ということなのでしょうか。しかも、何か目に見えない何かにランダムに選ばれる理不尽な話だと思った。
301	影鳥居	クダマツヒロシ	一般審査員E	20	15	20	15	20	90	タイトルも新しいし香典の「奉納」も気味が悪くてゾクっとしました。お父さんが亡くなってからの話は、優さんの父の体験談では無いので、優さんから聞いた話の方がしっくり来ると思います。
301	影鳥居	クダマツヒロシ	一般審査員F	14	12	14	12	14	66	ショートではあるけれど、映画かドラマを見ているように頭の中に情景が浮かんでくるような作品です。月明かりに浮かび上がる鳥居らしき影。そして、それを見た翌日に、自ら命を断ってしまった優さんのお父さん。葬儀で受け取った香典の中に交じって入っていた〈奉納〉の紙片。全てが謎なんだけれど、それらに繋がりは感じられて、何かの呪いなのだろうか、と考えると余計怖くなりますね。訳がわからない、という実話の怪談らしさを強く感じさせるいい作品でした。
301	影鳥居	クダマツヒロシ	一般審査員G	15	13	13	10	15	66	とても辛くやりきれない体験ですよね…影等の描写がリアルなので情景が非常に分かりやすく、怖さも増したお話しでした。怖さももちろんあるのですが、不思議だなぁと思う事が多く様々な考察が出来るお話しではないでしょうか？神社の鳥居と聞くと私はあまり怖いイメージは無かったのですが、その後の不可解な死を考えるとあまり良い意味では無さそうですね。末文の“奉納と書かれた紙が入っていた”部分が最後にも良い意味での“後味の悪さと謎”を残している感じも、個人的には良かったと思います。なので意外を高得点とさせて頂きました。
301	影鳥居	クダマツヒロシ	一般審査員H	10	10	5	12	12	49	神が獲りにくるスタイル…こわ…。もらい事故とは違うような、契約違反のような闇深さを感じますね。からかう目的で影がくるのではなく、命を持っていくような展開はハワワワ…！！とぞくぞくしました。もっと長文でゆっくり読ませて欲しいと思えるくらい密度の高いショート怪談だと思います。白い神様と黒い神様があると思うのですが、黒い方の粘着質な神様なのかも…と想像して怖かったです。とくに最後の＜奉納＞は恐怖を煮詰められたような強さを感じました。
301	影鳥居	クダマツヒロシ	一般審査員I	13	12	10	10	12	57	鳥居が現れて自殺。鳥居の影が見えた不思議な話をしたときはきっと自殺する気配なんてなかっただろうに。奉納の紙。お父さんが奉納されたということなんですかね？鳥居は何を意味したんでしょう
301	影鳥居	クダマツヒロシ	一般審査員J	20	18	18	3	20	79	最後のオチの「奉納」が怖すぎました。奉納と言っているけど生贄みたいなことなのかな？とか呪い的な何か？とか色々と考えられる話だと思いました。話をした事がトリガーなのかも気になりました。黙っていたら死んでしまうこともなかったのかな・・と考えてしまいました。
			合計	136	129	132	107	148	652	

No	タイトル	投稿者	評価者	怖さ	鋭さ	新しさ	ユーモアさ	意外さ	合計	書評
324	詰まる排水溝	ファミレス店長たらすぱ	一般審査員Ａ	14	10	10	8	10	52	排水マスから悲鳴が聞こえてきたのは、違法な中絶手術によって犠牲になった赤子なのかなと想像してしまいました。汚水があふれてしまう原因は何なのか。なんで、あふれさせてしまうのか。ちょっと気になりましたね。怖さの項目は高くしていますが、そのほかの項目にはちょっと低めにしています。
324	詰まる排水溝	ファミレス店長たらすぱ	一般審査員B	13	12	12	10	13	60	中絶手術を闇でやってたことにも驚くが形作られてきた赤ちゃんの遺体を排水溝に流すという事が信じられないです。申し訳ないですが嫌な気分になる話です。
324	詰まる排水溝	ファミレス店長たらすぱ	一般審査員C	17	16	17	15	17	82	まるで昭和初期に実際にあった病院の胎児遺棄事件を彷彿させるような短い文章の中にギュッと詰め込められた不快感がとても良いですね人間のドス黒い部分がそれこそ排水溝に押し込まれていて非常に私は好きです　もう完全にその場所は忌地として完成してますねいくら排水溝を掃除したところで赤子の鳴き声が止む事はないでしょう　という事で後味の悪さも想像出来るので鋭さや、新しさ、意外さを高めにしました
324	詰まる排水溝	ファミレス店長たらすぱ	一般審査員D	10	7	11	9	10	47	赤ちゃんが絡む話は個人的に苦手です。生肉のようなものが浮いていてそれも通常の清掃の中で処理してしまったのか、と想像すると後味も悪く気持ちが悪い。怪談としてはいい話かもしれませんが、個人的には苦手です。
324	詰まる排水溝	ファミレス店長たらすぱ	一般審査員E	15	15	10	10	15	65	水子霊のお話ですが、ものすごく気味が悪かったです。この世に生まれて来れなかったのも無念だと思いますが、供養もされず汚水と一緒に流されたらと思うとさらに無念だったろうと思いました。
324	詰まる排水溝	ファミレス店長たらすぱ	一般審査員F	13	11	10	10	14	58	排水溝が詰まる話はよく耳にしますが、その原因が多くの場合は髪の毛であるパターンが多い中、このお話では、恐らく、上の階のクリニックで違法に行われていた中絶手術で取り出された胎児の遺体なのだろう、というところが意外性と怖さを感じさせる。赤ん坊の鳴き声が聞こえる、というのもよくあるシチュエーションではあるけれど、やはり怖いですね。生肉のようなものを…の部分は誤字だとは思いますが、生肉のようなものが…ですね。そこだけが残念です。
324	詰まる排水溝	ファミレス店長たらすぱ	一般審査員G	17	12	12	10	15	66	うわぁ…酷いですね。人怖要素と霊的な怖さのミックス！ファミレスの話しだけかと思いきや、まさかの上の階での事件。その辺を加味し意外性を高評価としました。しかも赤ちゃんの鳴き声なんて…怖いけれど可哀想だなぁとも感じたお話しでした。描写も分かりやすくリアルだった点も高評価です。しかしそんな事があった場所ですから今後も何かありそうですし、そんな所のファミレスなんてあまり行きたくは無いですよね。そして赤ちゃん、どうか成仏出来ますようにと祈るばかりです。
324	詰まる排水溝	ファミレス店長たらすぱ	一般審査員H	20	20	10	18	15	83	「肉」を感じる怪談は怖い！！私は高評価をつけさせていただきました。ファミレスという友人や家族が集まる場所の真上で、聞くに耐えない出来事がおきていた。という明暗が激しい設定が、めちゃくちゃ良かったです。(創作でありますように…！！）全体を通して簡潔に、しかし十分すぎる情報量の文脈が続き、すごく文章構成力に才能がある方に感じました。「悲鳴が重なるように響き渡る」の一文がいいですね。耳に残る一文になっていると思います。この怪談が好きになる方は多い気がします。思わず何度も何度も読み返しました。
324	詰まる排水溝	ファミレス店長たらすぱ	一般審査員I	10	10	10	10	10	50	中絶したあとのご遺体はちゃんと処理して欲しいですね。怖いというよりグロくて気持ちが悪かったです
324	詰まる排水溝	ファミレス店長たらすぱ	一般審査員J	20	16	16	3	18	73	オチに胸糞悪さも感じながら生まれて来れなかった怨念や悲しみが容易に想像できて嫌な気持ちになる話でした。
			合計	149	129	118	103	137	636	

No	タイトル	投稿者	評価者	怖さ	鋭さ	新しさ	ユーモアさ	意外さ	合計	書評
293	SNSをやめた理由	川沿いのマスター	一般審査員Ａ	12	12	15	12	15	66	知らない人に花を供えたお礼でSNSにメッセが来るようになったのは、自分が体験したら嫌だなと思いました。それがきっかけでSNSをやめることになるが、今度はLINEで仕掛けてくるかもしれない。だから、気を付けているというのはリアルだなと感じました。現代的な怪談だと思ったため、新しさと意外さを高くしています。
293	SNSをやめた理由	川沿いのマスター	一般審査員B	15	13	14	12	13	67	実話ならマジで怖い。花を供えたのは関係があるかわからないけど亡くなった友人たちからDMが次々と届くのは恐怖ですね。友達の命日だとしたら予約をしてあげてもいいかもしれませんねw。結果報告お待ちしております。
293	SNSをやめた理由	川沿いのマスター	一般審査員C	13	13	16	15	16	73	霊なりの礼とでも言いましょうか律儀なものですね　怖さや、鋭さはそこまでですが、少し見た事のないタイプの怪談なので新しさやユーモアは感じました。よく考えたら自分のお店の近くで人が亡くなるのはいい気が知れませんので、出来る範囲の事はしてあげたいという想いは伝わりました　LINEの友達追加‥あまり深く考えずに軽い気持ちで追加は今後しにくくなるようなSNS全盛の今のお話でより真新しさを感じました
293	SNSをやめた理由	川沿いのマスター	一般審査員D	12	14	15	10	12	63	意外性のある話で面白かった。亡くなった友人からではなく、実際にお見せに来られる友人から連絡が来てほしいものですね。
293	SNSをやめた理由	川沿いのマスター	一般審査員E	5	5	10	15	10	45	川で亡くなった女性と亡くなった常連さんからの連絡を結びつけるのは無理が有るような気がしました。怖さは感じませんでした。
293	SNSをやめた理由	川沿いのマスター	一般審査員F	9	9	10	9	10	47	SNSという、いかにも現代人には欠かせないツールがお話に出てくるという意味では新しさを感じました。既に亡くなっている友人や知人から次々と届くメッセージ。川に飛び込んで亡くなった見知らぬ女性へ手向けたお花のお礼なのかもしれないですが、さすがに亡くなった人達ばかりではお店としては残念でしかないですね。文章の一番最後に『。』がないのは文字数の制限でしょうか？『。』はつけて欲しいと思いました。後、知らない女性に花を供えた…というところは、『知らない』は敢えて必要ないかな、と思いました。
293	SNSをやめた理由	川沿いのマスター	一般審査員G	17	13	15	10	15	70	SNS…まさに最近の怪談ですね！霊も時代により様々な現れ方をしますね。とても興味深く読ませて頂きました。お話にはゾッとしてしまいましたが、色々考えるとそれだけ皆に愛されたお店なんだなぁと思う所もあったり複雑な気持ちになりました。きっとメールをくれた亡くなった方はそのお店を見守ってくれていそうだし、恐ろしい怖さではなく生前の繋がりを感じられる怪談だったと思います。意外性、新しさを感じたので高評価としています。
293	SNSをやめた理由	川沿いのマスター	一般審査員H	10	10	15	10	15	60	SNSが連絡手段なのが、令和っぽくっていいですね！状況を淡々と説明進行していくので、ミステリー小説のような心地よい怖さがありました。(怖いのに心地よいってのも変ですが)私がこの怪談で特にお気に入りなのは「代金を貰えない人」という表現です。主人公にとってなにも利がない、体温を感じない言い回しがとてもステキだと思いました。最後の一文も良いですね、友達追加を押せない状況は一種の呪いのようにも感じて良きです。起承転結がとても上手いと感じました。
293	SNSをやめた理由	川沿いのマスター	一般審査員I	10	11	10	10	10	51	よく知らない人に花を手向けたから恨まれたんじゃないかと。。。だから死んだ仲間から連絡があるのではないかと
293	SNSをやめた理由	川沿いのマスター	一般審査員J	13	8	18	19	19	77	思わず笑ってしまった話しでした。怖さはなくゾッとするとかも無かったのですが新しさとユーモアのある話しだと思いその項目では高い点をつけました。恩返しならもう少し違う方法でして欲しかったですね。
			合計	116	108	138	122	135	619	

No	タイトル	投稿者	評価者	怖さ	鋭さ	新しさ	ユーモアさ	意外さ	合計	書評
299	降りない人	川沿いのマスター	一般審査員Ａ	10	10	15	15	15	65	視える人に係を担当させ、「降りない女性」がいるリフトに乗せないのはちょっと興味深いです。なんで、視える人が係を担当するようになったのか。もし、「降りない女性」に乗せてしまった場合、何が起こるのか。過去が気になりました。怖くはないですが、新しさとユーモア、意外さは高めにしています。
299	降りない人	川沿いのマスター	一般審査員B	13	12	13	12	12	62	スキー場で亡くなられた方なんでしょうがリフトから降りないとこをみると誰かを待って居るのかなと思いました。その誰かが来た時にそのリフトから降りる姿を見れるのかもしれませんね。
299	降りない人	川沿いのマスター	一般審査員C	16	16	16	14	15	77	場所に執着をしているのか？そこに居続け無ければならない強い理由があるのか？そして視える人が対応しないといけないババ抜き的な理不尽な怖さと、知らずに重なって座ってしまう発想の鋭さとユーモアを高めとしました　たまたまそこがリフトだったけど毎日利用する自家用車や、電車だったらと想像を少し巡らせたらよりゾッとしました　知らない方が幸せですね
299	降りない人	川沿いのマスター	一般審査員D	6	9	7	5	5	32	書き方が分かりづらくて、何度か読み直してしまいました。リフトに乗り続ける人を「降りる気がない人」と敢えて表現しているところに、何か意味があるのか、背景のストーリーが何もないので怖いとも不思議とも、感想を何とも言えないお話しでした。淡々と事実を書いただけにしても、後味も何もなく「それで？」となってしまったので投稿主の意思をもう少し伝えてほしかったです。
299	降りない人	川沿いのマスター	一般審査員E	10	10	20	10	10	60	タイトルが「降りない人」だから、最後の「降りる気が無い人 」も「降りない人」で統一するか、もっとインパクトの有る表現だったら怖さが増したと思います。
299	降りない人	川沿いのマスター	一般審査員F	11	11	13	13	13	61	お話の内容的にはなかなか面白くて興味深い。実話なのでしょうか？怖さとしてはそれほど感じられませんでしたが、リフトの係の人には視える人が採用される、というのがユーモアさも感じられます。そのリフトにはいつから乗っているのか、今もずっと乗り続けているのか、なぜスキーを履いていないのか、等色々想像したくなるお話でした。冒頭の書き出しの部分、N県の有名スキー場のとあるコース、のところは、N県の有名スキー場のとあるコース、というように『の』で繋げた方が自然な感じがしました。
299	降りない人	川沿いのマスター	一般審査員G	18	12	18	10	15	73	スキー場は色々と怪談も多そうですもんね…でもリフトの話は初めてだったので興味深々でした。お話は丁寧な背景描写だったこともあり、色々想像しながら完読させて頂きました。タイトルからも想像はしていたのですが、なぜその人は降りないのか？降りないのでは無くて“降りれないのか？”色々考察してしまいます。もしそうだとすればなんだか悲しい気もするし…色々な背景や理由がありそうですよね。その点も踏まえてもとても怖くて興味深い怪談でしたので、全体的に高評価をつけさせて頂きました。
299	降りない人	川沿いのマスター	一般審査員H	15	10	5	10	10	50	これは厭な仕事ですね。ただでさえ寒いゲレンデが2〜3℃気温が下がるような怪談で好きです。過去にナニカあったの！？と深読みしてしまう構成がすばらしく、読み手の想像力に刺さる良き怪談に感じました。「どこで」「なにが」「どのように」「どうなるかわからない」と未来が見えない曖昧な締め方になっているのが、定番の構成ではありますがテンポよくまとまっており、個人的にクオリティ高いな！と感じました。
299	降りない人	川沿いのマスター	一般審査員I	12	11	12	10	10	55	彼女をリフトから降ろしてしまったら何が起こるのだろうと考えたらワクワクしました。ゾクゾクではなくワクワク。間違って降ろしてしまったエピソードもちょっときいてみたかったかもです
299	降りない人	川沿いのマスター	一般審査員J	17	16	18	3	18	72	リアルっぽい話で短いながらとても怖いなと思いました。何かスキー場であったのか。。気になりました。あと、そのリフトの乗り降りする場所は見える人が配置されるのも怖いポイントでした。
			合計	128	117	137	102	123	607	

No	タイトル	投稿者	評価者	怖さ	鋭さ	新しさ	ユーモアさ	意外さ	合計	書評
229	斎場にて	夕暮怪雨	一般審査員Ａ	15	15	15	15	15	75	誰も笑っていないのに、斎場に突然笑い声が響くのはめちゃくちゃ怖い。そして、その笑い声は聞き覚えのある声で、その声の主は不登校だった同級生。その同級生が何らかの念を飛ばしていたのかどうかは分からないけど、いじめていた人が亡くなった途端、登校してきたのはタイミングが良すぎるなと感じました。2月分の中で一番怖い話だと思うので、総合的に高めな得点にしています。
229	斎場にて	夕暮怪雨	一般審査員B	14	12	10	12	12	60	斎場に響く笑い声が聞こえてきたら怖さより先に不謹慎な人がいるなって思います。でも周りを見渡して誰も笑って無かった時にゾッとするんでしょうね。生き霊なのか呪なのかはわかりませんが亡くなられた方には礼節をもって接してもらいたいですね。
229	斎場にて	夕暮怪雨	一般審査員C	15	15	15	14	16	75	いじめる側の人間は何故？いつから？自分はノーリスクだと錯覚していたのでしょうかね？人を虐めるような人間はこうなるよという因果応報、報いを受けるべきなので私は怖さよりも爽快感とユーモアさを感じました　生きた人間の執念や怨念めいた力がイキイキしてますね　後日普通に登校した生徒に対して周りの生徒は今後どう接して行くのか？と後の展開も想像してしまう新しさも感じました
229	斎場にて	夕暮怪雨	一般審査員D	10	6	9	12	11	48	書き方の癖が強めで、内容がなかなか入ってきませんでした。「読み上げてもらう」前提ではなく、まずは「読んでもらう」ことも前提で書いていただけるともっと怖さを感じられると感じました。そのため鋭さを低めに店をつけさせていただきました。最終的に、いじめっ子が亡くなった原因が、いじめられっ子の呪いだったのかもしれない、と思うととても気持ちが悪い話でした。
229	斎場にて	夕暮怪雨	一般審査員E	15	15	15	10	15	70	いじめの常習者が…因果応報ですかね？なにかしら呪いなのか、それほど酷いいじめをしていたんだろうと思いました。ちょっとスカッとしてしまった自分が怖くなりました。
229	斎場にて	夕暮怪雨	一般審査員F	14	12	12	11	12	61	ヒトコワ的な要素と、もしかしたら呪い？と思わせるような心霊的要素が怖さを感じさせる作品。由香里という女は急病で他界した、という事だけれども、もしかしたら真相は違うのかもしれない。虐めの事実を知っている人達は自業自得だと思うだろう。静かな斎場に響き渡るその場にそぐわない笑い声は不気味だし怖い。由香里の虐めで不登校だった生徒が登校して再び笑顔を取り戻せたのは良い事だけれど、素直に良かったね、とは言えない心理的な怖さも感じられるお話でした。
229	斎場にて	夕暮怪雨	一般審査員G	15	12	12	10	13	62	なんだか複雑な怖さがありますね…イジメをした女性はもちろん悪いんですけど、不登校にさせられた子の怨念というか“念”というものの恐ろしさが凄く怖い！！しかもイジメた子は亡くなってしまって…因果応報と言えばそれまでなんですけど。気味が悪いですね。一種の呪いみたいな何かですかね？理屈では理解出来ない事がやっぱりあるんだなぁと色々な怖さが交錯したお話しでした。臨場感もありお話しの描写も丁寧だったので読みやすかったです。
229	斎場にて	夕暮怪雨	一般審査員H	10	5	5	10	12	42	生き霊かな？？斎場では聞きたくない笑い声ですね。由香里さんが急病で亡くなられたというのも、何か呪いのような、怨念のようなものを感じて怖かったです。中高生ぐらいを想像したのですが、いらない奴、嫌いだから排除してやろう…！という子どもならではの短絡的な展開なのかも。と想像するとゾクっとしました。
229	斎場にて	夕暮怪雨	一般審査員I	12	10	10	10	10	52	いじめっ子は呪われて亡くなったのですね。学校に行けるようになってよかったです。生霊を飛ばせるほど恨めるのもすごいです
229	斎場にて	夕暮怪雨	一般審査員J	17	16	13	3	12	61	呪い的な何かか生き霊かわかりませんがその不登校だった子が関係しているのかなと思いました。心霊的な怖さもあるし人こわ的な怖さもあり全体的にまとまりがよく読みやすい話でした。
			合計	137	118	116	107	128	606	

No	タイトル	投稿者	評価者	怖さ	鋭さ	新しさ	ユーモアさ	意外さ	合計	書評
327	テレビの中の自分	平中なごん	一般審査員Ａ	15	12	15	14	15	71	ワイドショーに映っていた観光地に行ってもいないのに、自分が映っていたら怖いなと思いました。ドッペルゲンガーの類なのか分からないけど、もしそうならば、テレビ越しで自分を見かけたらどうなるのか気になります。
327	テレビの中の自分	平中なごん	一般審査員B	12	11	10	14	12	59	純粋にテレビに自分が出てたらビックリしますがさらに行ったことのない場所でテレビ越しにドッペルゲンガーにニンマリされるという恐怖が現実では無いような感じで夢かと思いますね。不思議なはなし。
327	テレビの中の自分	平中なごん	一般審査員C	16	16	16	17	16	81	最初に思いついた言葉はやはりドッペルゲンガーですね行った事すらない場所でも無意識の自分が肉体から飛び出て行ってしまったのか？コチラを見てニヤリとしたのは次はそっちへ行くからな！という警告でしょうかね　それと自分が確実に本体だという保証は何処にもない訳なので色々と救いが無い感じが更に怖さポイントを上げる要因となりました　もう一人の自分がコチラをロックオンする演出には若干のユーモアさを感じたので高めにしました
327	テレビの中の自分	平中なごん	一般審査員D	12	10	13	12	9	56	ドッペルゲンガーか自分に似せた何者なのか、考えると面白い話でした。
327	テレビの中の自分	平中なごん	一般審査員E	10	10	5	10	10	45	ドッペルゲンガーを見てしまったお話。よく聞くような話でしさは感じませんでした。最後もニヤリと笑っているだけで、怖さも感じず、何かもうひと捻り欲しいお話でした。
327	テレビの中の自分	平中なごん	一般審査員F	13	10	12	12	12	59	行った覚えのない場所に自分がいる…。ドッペルゲンガー的なものをテレビの画面で見てしまった、というような事なのでしょうが、怖いというか、非常に気持ち悪いですね。画面越しに振り返ったもう一人の自分がニヤリと笑う、というのも不気味だし怖い。幸いにも私はドッペルゲンガーに遭遇した事はないけれど、そういう話はちょくちょく聞くので、もしも自分が体験したら…と考えるとやっぱり怖い。
327	テレビの中の自分	平中なごん	一般審査員G	18	14	18	10	15	75	個人的にはとても興味深く、面白いと感じたお話で、怖さももちろんですが他の部分でも高評価とさせて頂いたお話しでした。語りの描写も分かりやすいので想像もし易く、自分がもし体験したらと考えるとゾッとしました。そこに映っていたのは本当に誰だったのか？何かの霊のいたずらなのか？ドッペルゲンガー的な何か？不思議な怖さも感じます。その後も同じ様な事があったのか？など色々と考察も楽しめ非常に面白いなぁと思いながら完読です。
327	テレビの中の自分	平中なごん	一般審査員H	5	10	10	10	15	50	これは良き怪異ですね。望んでないのに、唐突に飛び込んでくる怪異に恐怖を感じました。ドッペルゲンガーなのか、他のナニカなのか。誰もが想像できる、日常の場面での怪異現象なので、後からジワジワ思い出しそうです。怖さはあまり感じませんでしたが、気持ち悪さはピカイチでした。
327	テレビの中の自分	平中なごん	一般審査員I	10	10	10	12	11	53	ドッペルゲンガーなのですかね。テレビで見つけたらドキッとしますよね。ドッペルゲンガーを見ると死ぬといいますがその後無事なのか気になります
327	テレビの中の自分	平中なごん	一般審査員J	17	18	5	3	8	51	前にもこのような話を見た気がするような。。と言う既視感がありました。怖さはありましたが新しさはあまりなかったです。でも急にワイドショーに自分が映っていたら、、と思うとびっくりしますよね。
			合計	128	121	114	114	123	600	

No	タイトル	投稿者	評価者	怖さ	鋭さ	新しさ	ユーモアさ	意外さ	合計	書評
310	オカルトYouTube	hama 3	一般審査員Ａ	14	10	10	12	10	56	完璧にヒトコワの話です。オカルトは信じていないけど、人を呪うためにオカルトをツールとして使い人はやばい人じゃないですか。幽霊は出てこないけど、別の意味で怖いと思ったので怖さは高くしています。
310	オカルトYouTube	hama 3	一般審査員B	10	12	13	12	14	61	人怖の話しですが、何か話の途中の感じがします。もう少し続きが欲しかったです。呪いを信じさせないと呪いが効かないのはわかりますがそれにナナフシギのチャンネルが使われてると思うと嫌な気分になりますね。
310	オカルトYouTube	hama 3	一般審査員C	15	17	15	16	17	80	幽霊は出ない急なヒトコワ！一見共通のテーマで盛り上がっていて意気投合したなぁと思っていたのは自分だけという胸糞な展開に怖さと鋭さを高めにしました　人によって何処にスイッチが分からないですね　こちら側の人かと思ったら最初からあちら側でした的な決して相容れない人間模様が改めて良かったです
310	オカルトYouTube	hama 3	一般審査員D	11	7	13	11	14	56	誰かと一緒にナナフシギの動画を見て呪いを遂行しようとしているのか、かなり後味の悪い人怖でした。ナナフシギをそうやって使ってほしくはないと思いつつ、呪いにまつわる投稿話等も多く、オカルト動画のこういう使い方があるのかと新しい発見にもなりました。呪いが実行されないことを願います。
310	オカルトYouTube	hama 3	一般審査員E	10	5	15	10	5	45	分類するなら人怖になるのか？新しさは感じました。たまたまBARで居合わせた人に企みを正直に話すかな？同調して軽くその場をより過ごすか、オカルトYouTubeの話題は避ける気がしました。
310	オカルトYouTube	hama 3	一般審査員F	14	13	13	13	14	67	シンプルにヒトコワ、だけど、非常に怖いと思いました。私もオカルトYouTube は大好きだし、よく見ているけれど、そういった見方をしている人がいるんだ…と思うと驚きもあり、とても怖い。ただ、そんな風に人を呪う為にオカルトYouTubeを利用されるのは悲しいし、利用するのはやめて欲しいですね。特に、ナナフシギのYouTubeが好きであるのなら尚更。お話は全体的にバランス良く評価出来るいい作品でした。
310	オカルトYouTube	hama 3	一般審査員G	15	12	14	10	15	66	まさかのナナフシギさんBARでの体験とは！！！冒頭から興味深く読ませて頂きました。しかし色々なお客さんがいるんですね…その女性、最初の印象と後半が随分変わっていて、人怖的な怖さもあるし、憑依的?!な怖さや色々な怖さがミックスされてるなぁと感じました。しかも現在進行形な雰囲気もありますし…後味の悪さも怪談としては良かったので、怖さの点や他も高評価とさせて頂きました。しかしその女性、またお店に現れるのかなぁ…怖っ！
310	オカルトYouTube	hama 3	一般審査員H	5	5	15	10	5	40	わーッ！これは新しい！間接的な洗脳というか、自動思考を誘導するために、YouTubeを活用していくという設定が良いですね。女性が呪いたい「あいつ」に認知の歪みを作為的におこすことで「呪い」の完成度を上げていく展開が、令和っぽい人怖怪談に仕上がっていると思います。全体を通して弾けるような恐怖はありませんがじわじわ真綿で締めてく古典的な設定に上手くYouTubeがからめてあって面白い構成だと思いました。個人的に1点残念なのは「ナナフシギのYouTubeが好き」が無ければ良かったなぁ…読み手が「呪術系YouTubeチャンネル」を勝手に想像する方が読み物として美しかったような気がします。
310	オカルトYouTube	hama 3	一般審査員I	12	11	10	13	10	56	呪いを信じさせる。あれ？ナナフシギって呪いの話なんかしてました？田中さんや早瀬さん夢郎さんあたりでは笑。呪いは信じなくてもかかりそうな。ってかその彼女はなんだかんだで呪いも幽霊もしんじてそうですよね。楽しいお話でした
310	オカルトYouTube	hama 3	一般審査員J	17	17	15	3	16	68	人怖の要素が怖かったです。語り口調から本気な感じが伝わってきて尚怖かったです。呪いは上手くいったのか、身を滅ぼしたのか、その先も気になる話でした。
			合計	123	109	133	110	120	595	

No	タイトル	投稿者	評価者	怖さ	鋭さ	新しさ	ユーモアさ	意外さ	合計	書評
208	大きなボストンバッグ	オカルトメドレー	一般審査員Ａ	12	12	12	12	15	63	子供がいないのに、夫を亡くした女性のボストンバックには「コドモ」がいると発言。思い込みなのかどうかは分からないけど、バッグがふらついていたので、多分中にはなんか入っていたのは間違いないはず。何者なのか分からないけど、ちょっと怖いなと思いました。怖い話として成立しているので、平均的な点数にしています。
208	大きなボストンバッグ	オカルトメドレー	一般審査員B	12	13	13	12	12	62	バッグに子供がいてもいなくてもその女性の発言が怖いという話ですね。状況がわからないのでくわしく長編でも読みたくなる話でした。
208	大きなボストンバッグ	オカルトメドレー	一般審査員C	14	16	15	16	15	76	読み手の解釈一つで広がる怖さがありますね子供そのものが本当にそこに収まっているのか？これから入る予定なのか？そのお婆さんの単なる妄想なのか？ヒトコワでもあり鋭い角度の展開と怖さと共に意外さを高めとしました　発言の真意もあやふやでまるで体験者のリアクションを楽しんでる様な節もあるのでヒトコワとしてのイヤ〜な怖さもありこの点数としました
208	大きなボストンバッグ	オカルトメドレー	一般審査員D	11	8	12	7	11	49	所謂「人怖」に分類される話ですね。実際に人形が入っているのか、コドモと称する何か象徴的なものを持っているのか定かではありませんが、不気味なことに変わりはありません。ただ、仕事の話とこの女性の話がどう結び付けたかったのか意図が分からないので、そこで切れ味の悪さを感じてしまいました。
208	大きなボストンバッグ	オカルトメドレー	一般審査員E	10	5	5	5	10	35	人怖でしょうか？それとも聞き違い？ご主人を亡くされて一時的に不安定になったと思いたいお話でした。
208	大きなボストンバッグ	オカルトメドレー	一般審査員F	14	13	14	13	13	67	ショートながら、しっかり怖さが感じられる作品でした。実体験、というのもいいですね。女性の年齢的に、コドモ、と言っても、もしもいたとしたらボストンバッグに入れられるようなサイズでもないだろうし、逆にバッグに入れられるサイズなら、誰のコドモ？ってなってしまうし…。遺体ではなく骨だとしても、戸籍上子供はいないという事なので、何れにしてもヒトコワ、ですね。文面もしっかりしていて、私の中ではかなり好評価でした。
208	大きなボストンバッグ	オカルトメドレー	一般審査員G	13	12	15	10	15	65	人の死を扱うお仕事とのお話で、なかなか重い感じなのかなぁと思い読み進めました。カバンの中身との事だったので、内容が気になったのですがまさかのオチに“え？”となりました。これは人怖なのか？本当に中身は子供なのか？それとも愉快犯的な?!など色々な怖さが押し寄せてきた怪談です。なので意外性を高評価としました。淡々とした文章故に怖さも増し、また考察のしがいのあるお話しだったと思います。その後がどうなったのか非常に後引くお話しでした。
208	大きなボストンバッグ	オカルトメドレー	一般審査員H	15	5	15	10	5	50	ストレートな人怖怪談でゾクっとしました。私は新しい怪談に感じました。ショート怪談なので、少ない情報になってしまうのは仕方無いのですが、匂わせの要素が多く全体的に消化不良な内容になっている気もしました。「死」を扱う仕事で戸籍が確認できる仕事。面談とあるので葬儀屋さんとは違うような…読了後にモヤモヤと気になりました。欲を言えば、実体験だからこそ知り得る描写がもっと具体的にあると良かったなと思います。例えばボストンバッグの具体的な大きさ説明があると、子供のサイズが想定でき、読者が赤ちゃんなのか、幼児なのか、児童なのか…と想像が広がり怪談としての恐怖深度が良くなると思いました。
208	大きなボストンバッグ	オカルトメドレー	一般審査員I	12	10	10	10	10	52	死を扱う仕事とはなんでしょうって考えてしまいました。子供とはなんだったんでしょう。戸籍にいない子供。誘拐？とか思ったらドキドキします
208	大きなボストンバッグ	オカルトメドレー	一般審査員J	18	17	14	3	17	69	めちゃくちゃ気持ちわるって思いました。子どもだと思い込んでいる何かなのか、旦那を亡くしておかしくなって本当に誰かの子をバックに入れてしまったのか、色々と想像してしまいました。
			合計	131	111	125	98	123	588	

No	タイトル	投稿者	評価者	怖さ	鋭さ	新しさ	ユーモアさ	意外さ	合計	書評
252	咳	ふ菓子爆弾	一般審査員Ａ	12	12	12	11	11	58	この体験は車を走らせていた時に体験したのか、それとも車を走らせて、どこかに行った時の話なのか分からなかったですね。体験した内容は怖いですし、その体験をしてから咳が出るようになったのは絶対後遺症だなと思います。怖い話としているので平均的な得点にしています。
252	咳	ふ菓子爆弾	一般審査員B	10	12	13	16	12	63	立っていた火柱はまさかの狐火だったんですね。ユーモアに焦点を絞って来た感が凄かったです。おもわずフフッと笑ってしまいました。
252	咳	ふ菓子爆弾	一般審査員C	14	16	17	17	17	81	成る程！オチがまた怖可愛くてユーモアと新しさポイントを高めにしましたそう来ましたか🦊 見る人によっては火柱ですが、また他の人が見たら妖怪、狐火に見えていたのかも知れませんね　体験者さんは今頃尻尾が生えやがて耳が‥やはり怖可愛いですね　こうして狐さんは眷属を増やしていってるのか？短編ですが壮大な物語の序章の様な文章で良かったですコンコン♪
252	咳	ふ菓子爆弾	一般審査員D	6	14	9	13	11	53	オチが見事！途中まではよくある不気味系の話かと思わせておいて、最後にそういうことか！と気持ちよく終わってくれてとても面白かった。書き方も分かりやすく、シンプルで個人的に好きな話でした。
252	咳	ふ菓子爆弾	一般審査員E	5	5	5	5	5	25	タイトルの咳と火柱の関係性がよく分からなかったです。そこが書かれていたら加点出来たと思います。
252	咳	ふ菓子爆弾	一般審査員F	12	13	14	14	13	66	文章は倒置法を使われていたりと、面白く読ませていただきました。ただ、ショートに限っては使いどころが結構難しいので、多用し過ぎない方がいいかもしれないですね。二行目の、前方が明るいのに…のところは、倒置法にせずに、普通にこのあたりは畑が…を先に持ってきた方が情景がストレートに伝わりやすいかな、と思いました。火柱と動物のような影の関係はわからないけれど、熱くない火柱というのも不思議だし、影が迫ってくるのも怖いですね。最後の咳が、コンコンと、で、恐らくキツネと関係があるのかな、と思わせると共に、ユーモアさも感じました。お話自体も、あまり聞かないような印象で新しさも感じました。
252	咳	ふ菓子爆弾	一般審査員G	13	12	12	15	12	64	お話しとしては、とても情景描写がリアルでそれ故にその状況が凄く伝わり不思議でもあり、恐ろしいなぁと感じる怪談でした。この出来事は一体何だったんだ？と疑問を感じながら読み進めました。色々と考察出来ますね。火柱という事でその場所や土地に何か関連のある事象なのでしょうか？実際夜道でそんな事が起きたら恐怖でしか無いですよね…。しかし末文でちょっとクスッとなった私。咳のコンコン→キツネの霊？笑　緊張感のある文面からの急展開な終わり方！私的にはそこに小気味さと面白さを感じたのでユーモアの点を高評価とさせて頂きました。
252	咳	ふ菓子爆弾	一般審査員H	15	10	10	20	20	75	カワイイ。この怪談は怖カワイイ。展開の内容から、動物おそらく狐に憑かれたのかな？と想像できるのですが、少しおやじギャグを感じるオチに、最初の感想はカワイイ。となりました。最後の一文「コンコンと」までは、文句のつけようのない湿度の高いショート怪談だったのに、コンコンでやられました。個人的にこのギャップが意外性もあり、狐のからかいのような感じもあり「怖カワイイ」という新しいジャンルを感じました。相反するものが混ざっててすごく良いと思いました。投稿者さんが意図する解釈じゃなかったとしたらすみません。
252	咳	ふ菓子爆弾	一般審査員I	10	10	10	10	10	50	不思議な火柱と咳が止まらないのはなんの結びつきが。。。怖くもないし意味もわからなかったです
252	咳	ふ菓子爆弾	一般審査員J	10	13	15	3	9	50	個人的にあまり怖さは感じなかったです。狐が関係しているのはわかりましたが。。火柱は狐火みたいな事なのでしょうか？不思議な話だなぁと言う印象です。
			合計	107	117	117	124	120	585	

No	タイトル	投稿者	評価者	怖さ	鋭さ	新しさ	ユーモアさ	意外さ	合計	書評
205	女性客の中身は誰？	仲川秀明(ヒデ)	一般審査員Ａ	12	12	12	15	15	66	来店した女性客の顔が辛口な人で、しきりに何か言っていたのはお札の影響があったのかなと思いました。そして、退店する時の女性の顔が変わったのは憑き物がとれたのか？それとも、この世のものではない人物の正体が現れたのか？どっちかは分からないけど、この部分がユーモアと意外だなと思ったので得点を高くしています。御札ってコーティングしても効果あるんだな。
205	女性客の中身は誰？	仲川秀明(ヒデ)	一般審査員B	15	15	12	10	12	64	悪いもので憑くといえばへびとかキツネですが神の化身ともとれる動物なので一概に悪いものかは判断できないですね。その人にとっては良いものの可能性がありますし。こちらに害が無いのなら単純にお客さんを逃した形なので客商売にはどっちが良いのか迷いますし、勉強になるはなしでした。
205	女性客の中身は誰？	仲川秀明(ヒデ)	一般審査員C	14	16	16	17	16	79	如何にもな姿でくる霊や魔物でしたら警戒やら対策やら出来ますが見た目が完全に生きた人間のそれでしたらもう事前に備えるしか無いですね　短い怪談ならではの急展開な意外さとちゃんと大人しく退散するおばけさんの健気なユーモアさは強く感じました　霊の中には親しい人物に化ける狡猾なモノも居るので注意が必要ですね
205	女性客の中身は誰？	仲川秀明(ヒデ)	一般審査員D	9	12	14	11	12	58	リアルな人間の口から出てきた言葉ということは、その女性に憑いていた何かの言葉だったのかもしれない。結果的にお店に良くないものが入らなかったのはいいことだけれど、その女性の今後が少し心配です。そして、お札の効果の強さに驚きました。業者の方はゲン担ぎをよくする、と言いますがこういう方法もシンプルでありなんだなど勉強になりました。
205	女性客の中身は誰？	仲川秀明(ヒデ)	一般審査員E	10	5	10	10	5	40	店内に入れているので、そこまで悪い物では無かったのでしょうか？そこに違和感を感じました。 店内に入れない話の方がもっとインパクトが有って加点出来たと思います。
205	女性客の中身は誰？	仲川秀明(ヒデ)	一般審査員F	12	12	13	11	12	60	来店した女性客には悪い霊か何かが憑いていたのでしょうか？もしもそうだったとしたら、御札の効果はあったのでしょうか？悪いモノが入れないはずなのにその女性客は入ってこれた、というところで矛盾を感じてしまってその分怖さが薄れてしまったのは否めませんでした。開店の際…の文章のところは、途中で文章を切らずにもう少し纏めて繋げた方がいいような気がします。女性が辛口な人で…というところも、女性はなぜか…というようにした方が意外性も出せるような気がします。話としては悪くはなかったです。
205	女性客の中身は誰？	仲川秀明(ヒデ)	一般審査員G	15	12	12	10	15	64	まず冒頭、建物の立地が川沿いという所で“おやおや…”と嫌な予感。しかもなぜお札を貼ることを進める？？最初から何か起こりそうなフラグが立ち始めて興味深々で読み進めました。しかし最後のオチが私の想像と違っていて。.良い感じでの裏切られ方で“怖っ”となりました。その点を加味し意外さを高得点に。どんなお店なのか？もう少しその辺の背景など少し膨らませると話しに立体感が出るのかなぁと思いましたが、ジワっと怖くなる面白い怪談でした。そしてタイトル通りの謎が私も残りました。
205	女性客の中身は誰？	仲川秀明(ヒデ)	一般審査員H	5	5	8	10	10	38	定番の御札系怪談。終始カジュアルな雰囲気でまとまっており、恐怖感が薄めに感じました。しかし考察好きにはたまらない、ラストの展開は最高ですね。「女性客には何が入っていたのか」考察が楽しめました。内装屋さんが「御札を貼ったら？」と勧めてくるという事は、改装中に何かあったのでしょうか。長編でも十分に魅力的になりそうな要素を感じました。ショート怪談ならではの落語のような軽快なオチに構成力の高さを感じました。これは私の好みなのですが、タイトルが出オチになっている点は残念に感じました。
205	女性客の中身は誰？	仲川秀明(ヒデ)	一般審査員I	10	10	10	10	10	50	彼女が悪霊だったのですね。入れないはず。。。は入れてますね笑ながく留まる事はできないみたいですが
205	女性客の中身は誰？	仲川秀明(ヒデ)	一般審査員J	16	18	15	3	13	65	短さの中にしっかりとした鋭い怖さがあったと感じました。お札の効果がありよかったですね。話自体もわかりやすいし流れも良かったと個人的には思いました。
			合計	118	117	122	107	120	584	

No	タイトル	投稿者	評価者	特才	創才	新しさ	コーヒータイム	書き方	合計	感想
36	自宅ちゃんと看	ていやのこや	一般審査員	9	8	12	12	8	12	結果下位組と比較に思い切った作品だと思いました。個人的には、「看」というお題でちゃんと思わせたから、最初は面白い話だなと思いました。でも、最後のオチが、ちょっと、ありがちだなと思ってしまいました。この話の設定だとあんなオチでもOKだと思うんですが、世界的に言い換えられてしまいます。読み方と表記の工夫があればもっと良かったかも。
36	自宅ちゃんと看	ていやのこや	一般審査員	14	12	15	11	14	26	「看」というお題の解釈が面白く、設定にも新しさがあって、ユーモアもあって、とても楽しく読めました。ただ、ラストのオチが思いもたどっていきました。
36	自宅ちゃんと看	ていやのこや	一般審査員	15	17	16	18	16	18	「看」というお題の解釈が面白く、ユーモアもあって、とても楽しく読めました。ただ、ラストのオチは、ちょっとありがちな展開で、もったいないなと思ってしまいました。ラストのオチを、もう少しひねってみてもいいかもしれません。
36	自宅ちゃんと看	ていやのこや	一般審査員	8	12	10	11	13	23	「看」というお題から、明るい感じの設定の話を作って、ラストにもう少しインパクトがあったらいいなと思いました。ただ、ラストのオチが、ちょっとありがちな展開で、もったいないなと思ってしまいました。
36	自宅ちゃんと看	ていやのこや	一般審査員	15	15	5	10	10	15	「看」というお題を活かしてよかったと思います。ただ、ラストのオチは、ちょっとありがちな展開で、もったいないなと思ってしまいました。
36	自宅ちゃんと看	ていやのこや	一般審査員	11	10	12	13	14	27	結果、ラストのオチが結構有名な展開だったので、残念ではあるのですが、評価を下げざるを得ませんでした。ただ、「看」というお題をうまく使った作品だと思いました。ラストのオチが、ありがちな展開だったので、もったいないなと思ってしまいました。ラストのオチを、もう少しひねってみてもいいかもしれません。
36	自宅ちゃんと看	ていやのこや	一般審査員	13	12	13	10	12	25	「看」というお題を活かしてよかったと思います。ただ、ラストのオチは、ちょっとありがちな展開で、もったいないなと思ってしまいました。ラストのオチを、もう少しひねってみてもいいかもしれません。
36	自宅ちゃんと看	ていやのこや	一般審査員	12	12	11	10	11	21	結果、ラストのオチが、ありがちな展開だったので、残念ではあるのですが、評価を下げざるを得ませんでした。ただ、「看」というお題をうまく使った作品だと思いました。ラストのオチを、もう少しひねってみてもいいかもしれません。
36	自宅ちゃんと看	ていやのこや	一般審査員	12	12	12	11	12	23	結果、ラストのオチが、ありがちな展開だったので、残念ではあるのですが、評価を下げざるを得ませんでした。ただ、「看」というお題をうまく使った作品だと思いました。ラストのオチを、もう少しひねってみてもいいかもしれません。
			合計	116	111	115	105	124	231	

No	タイトル	投稿者	評価者	特才	創才	新しさ	コーヒータイム	書き方	合計	感想
37	春	虹太郎	一般審査員	10	10	10	10	10	20	一人暮らしを続けていくのは大変だったと思いました。なんとなくだけですが、この話、ほぼ実話ですよね。ほぼ実話なので、ちょっとだけ、ちょっとだけ、ほんのちょっとだけ、ドキュメンタリーっぽい感じがしました。
38	春	虹太郎	一般審査員	10	12	10	12	10	22	明るい日々の話だけかと思いましたが、あっけなく去ってしまいましたね。でも、それが、人生なのかもしれないなと思いました。ちょっとだけ、ほんのちょっとだけ、ドキュメンタリーっぽい感じがしました。
39	春	虹太郎	一般審査員	13	14	13	14	13	27	一人暮らしをあるあるで作品一本にしていて、印象深くあるなにをあるあるとするかというところが、とてもよかったです。ラストの、「春は、出会いの季節だから、きっと、いい人に出会えるはずだ。」という言葉、とても、ほっとさせてくれてアイリスは「中略」のことが、とても、ほっとさせてくれてアイリスは「中略」のことが、とても、ほっとさせてくれてアイリスは「中略」のことが